

<p>企画名：臨床における看護理論研究会 看護理論—ケアリング理論に焦点をあてて—</p>
<p>実施日：平成 26 年 8 月 2 日・11 月 22 日</p>
<p>講師：安酸 史子（防衛医科大学看護学科教授）</p>
<p>企画実施組織：臨床における看護理論研究会（金城 祥教）</p>
<p>企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。）</p> <p>臨床の看護師にとって看護実践を導いている理論について考える機会は少ない。実践の科学としての看護は理論的な根拠にもとづいて行われており、臨床の看護師の行動にはいくつかの理論がすでに含まれており、その身体化された理論を言葉にすること、つまり実践的行為を概念化することもまた臨床における看護理論研究の目的のひとつです。</p> <p>看護理論は臨床におけるさまざまな現象（看護の営み）を説明することに役立ちます。多くの臨床看護師は自らの実践を振り返り、それを説明するとき看護理論を活用している。今回の企画においては臨床での実践的知を言語化し可視化することを目的にケアリングという、あたらし看護概念を学び、自らの看護を振り返ってみることにしました。</p>
<p>企画実施報告(参加人数等を明記)</p>
<p>第 1 回</p> <p>1) 期 日 平成 26 年 8 月 2 日（土）14 時—17 時</p> <p>2) 場 所 看護学科講義室 1</p> <p>3) 内 容 「経験型実習教育とケアリング理論」</p> <p>講 師 安酸史子先生（防衛医科大学教授）</p> <p>経験型実習は学生一人ひとりの直接的経験を教材化（大事に）してリフレクションを通し反省的実践家を育てていく技法です。その指導法はケアリング理論を用いて行われます。患者へのケアリング力を身に着けることを支援するもので 以下の手順で進められます。【モデリング】まず指導者は学習者にモデルを示します。学生がその場で体験している出来事を【対話】を通してリフレクションします。学生は【実践】を繰り返し自らの実践を意味づけしていきます。指導者は学生の反省的実践を【奨励】することを繰り返します。経験型実習指導では学生の体験世界に身をおき、学生の思考の中で対話し、発問しながら学生自身が自らの経験を意味づけることを支援する教授法です。学生の自己効力感を高めることが可能となります。学生の自己教育力を育成することにも大いに役立つ教授です。</p>
<p>第 2 回</p> <p>1) 日時：平成 26 年 11 月 22 日（土）14 時—16 時</p> <p>2) 場 所：看護学科講義室 1</p> <p>3) 内 容：ケアリング理論に関する 4 人の理論家（メイヤロフ、ノディングス、ローチ、ワトソン）の概念を紹介しながら、それぞれの理論家の特徴を詳しく解説してくださった。そして私たちを取り巻く、日々の看護実践や教育活動などにおいてもケアリングにもとづく教育実践が期待された。</p>

講師 安酸史子先生（防衛医科大学教授）

講義概要【一部】

1970年代Mayeroff, M.、Leininger, M. M.、Watson, J

1980年代Gilligan, C.、Gaut, D. A.、Benner, P.、Noddings, N.、Bevis, E. O. & Watson, J.、Ray, M. A.

1990年代Morse, J. M.、Nyberg, J.、水野治太郎、Leininger, M. M.、Smith, P.、Roach, M. S.、Swanson, K. M.、Montgomery, C. L.、Kuhse, H.、Fry, S.、石川道夫、Noddings, N.、Smith, M. C.、Benner, P.、Watson, J.

2000年代森村修、Boykin, A. & Schoenhofer, S. O.、広井良典、Benner, P.、Watson, J.、Eriksson, K.、江藤裕之、中野啓明、石川道夫

筒井真優美：看護学におけるケアリングの現在 概説と展望、看護研究、44（2）、115-128、医学書院より

ケアリング文化の形成と伝承：ケアリングの実践においては、ジレンマや倫理的葛藤に悩むことが多い。看護学生、新人看護師、新人看護教員がケアリングの専門家として成長することを支援するためには、それぞれの環境の中でケアリング文化が形成されることが重要である。さらにケアリング文化が次世代へと伝承されるためには、基礎教育課程において身体を通じた経験としてケアリングが教育されなければならない。

ケアリング教育には、教師と学生の間にはケアリング関係が形成され、ケアリングサイクルが回る必要が大切である。そのためには教師にはケアする人の意識の特徴である専心没頭と動機の転移が必要。

企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)

参加者は臨床看護師並びに看護教員からなり、日々の実践活動の振り返りとして大変参考になったとのアンケート評価があった。また新たな気持ちで現場に戻ることができたとの声が多く聞かれた。ケアリング理論は看護者にとって、自らの実践を導く理論であるばかりでなく、自信と勇気を与えるものといえよう。